



サクセスストーリー

福井大学医学部附属病院

山下芳範（医療情報部）



成功事例 稼働中（2006年4月1日～）

■ 稼働概要 ■

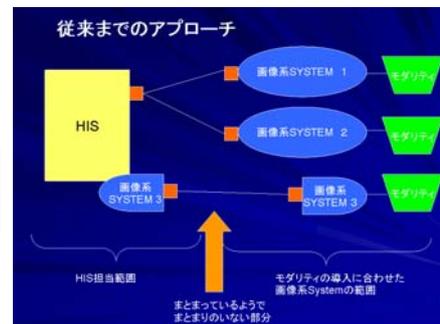
施設規模 : 病床数 600床
 外来患者数 約1,000人/日
 システム概要 : 電子カルテシステムを中心とした
 病院統合情報システム。
 画像系にIHE-J適用。

■ 新システムにおける主な特徴と取り組み ■

- IHE-Jの適用による短期リプレース
 HIS更新に伴う画像検査業務の全面更新
 稼働まで6ヶ月 実質4ヶ月
 従来のHL7ベースの個別対応からの脱却
 (手作りHISからパッケージHISへの大転換)
- PKIインフラの利用
 院内・学内認証局及びTSAの整備と利用
 電子認証の利用
- 標準マスタ・標準規格の採用
 最新の標準マスタ(JJ1017 Ver3, JLAC10, HOT)、HL7の採用。

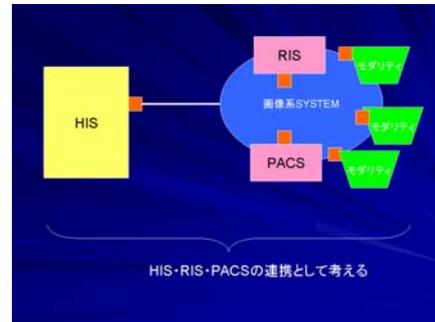
■ 実装したIHE-Jプロファイル及びアクター ■

統合プロファイル	アクター	状況
SWF	ADT	○
	Order Placer	○
	DSS / Order Filler	○
	Acquisition Modality	○
	Image Manager / Archive	
	PPS Manager	
CPI		計画中
CT		計画中



HIS大変更

IHEで短期リプレース
構成もスッキリ



■ 導入の効果 ■

- 短期間での機器更新
 (HIS側の大幅変更に対応)
- 導入に際して、IHEでのユースケースにより検討が短期に行える
- 標準を標準して活用できる
- 長期的視点での計画が行なえる

■ 今後の方向 ■

- 適用範囲(画像以外)の拡大を検討
- 利用プロファイルの拡大を検討
- 更新=拡大のタイミングと考える
 (検査・内視鏡などへの拡大)
- HISベンダーへの働きかけと採用範囲の拡大
- 電子カルテと同様にPKI・統合認証の利用と同期

